

第2回 飯山市介護保険運営協議会 会議録（要旨）

日 時 令和8年（2026年）8月25日（火） 午後3時30分開会
場 所 飯山市役所 4階 全員協議会室

出席者 委員11名（欠席5名） 事務局8名 計19名

◎：協議会長、○：副協議会長 敬称略

■出席委員

1号委員（公募）	村松 深里	
2号委員（医療）	小山 茂	（飯山赤十字病院 院長）
2号委員（医療）	岸 弥栄子	（飯水歯科医師会 監事）
3号委員（福祉）	齋藤 誠	（飯山市民生児童委員協議会 会長）
3号委員（福祉）	◎山室 茂孝	（飯山市社会福祉協議会 会長）
4号委員（事業者）	西村 圭	（北信州みゆき介護センター 事業所長）
4号委員（事業者）	湯本 理恵	（いいやま介護老人保健施設みゆき 課長補佐）
4号委員（事業者）	高橋 秀幸	（株式会社 Life well 代表取締役）
5号委員（有識者）	坪根 津根子	（飯山市農村女性団体連絡会 会長）
5号委員（有識者）	○宮本 智子	（飯山市ボランティア連絡協議会 理事）
5号委員（有識者）	小林 初子	（飯山市認知症キャラバンメイト連絡会 会長）

■欠席委員

1号委員（公募）	木鋪 美香	
2号委員（医療）	片塩 仁	（飯水医師会 副会長）
3号委員（福祉）	芦沢 哲夫	（飯山市身体障害者福祉協会 会長）
5号委員（有識者）	北爪 英紀	（老人ホームてるさと 施設長）
5号委員（有識者）	荻原 洋平	（公益社団法人飯山地域シルバー人材センター 理事長）

事務局	木村 裕之	（民生部長）
	山崎 文英	（保健福祉課長兼地域包括支援センター所長）
	畔上 裕明	（地域包括支援センター所長補佐兼介護支援係長）
	福澤 さつき	（地域包括支援センター介護支援係企画員）
	石田 ゆみ	（高齢者介護保険係長）
	鈴木 望未	（高齢者介護保険係）
	蒲原 有香	（高齢者介護保険係）
	青木 遥奈	（高齢者介護保険係）

1 開会（保健福祉課長）

2 飯山市介護保険運営協議会・地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス運営委員会委員任命辞令交付

（机上交付）

（事務局）

資料に沿って説明

3 部長あいさつ

山室会長初め委員の皆様におかれましては大変お忙しい中、また暑い中、飯山市介護保険運営協議会にご出席いただきまして大変ありがとうございます。本日は、飯山市第10期の介護保険事業計画の策定に向けまして、現在の第9期計画の中間総括についてご報告申し上げまして、ご意見を伺いたいということから協議会の方を開催させていただいたところでございます。

現在の介護保険事業における飯山市の状況ですが、介護サービスの供給量は減少傾向にはあるものの、深刻な人材不足からサービスを縮小せざるを得ない事業所もできてきているというところでございます。このような状況の中で、地域全体の介護環境の維持は極めて大きな課題となっております。

この課題に対しまして市では、介護人材確保、また定着を目指した介護職員初任者研修の開催や、認知症などにより徘徊のおそれのある高齢者等のGPSを活用した位置探索機器の使用に対する費用の補助など、令和8年度から新たな支援を実施しまして、介護環境の維持や負担の軽減を図っているところでございます。

市民の皆様が引き続き飯山市で安心して暮らし続けられるよう、今後の介護保険事業につきまして、委員の皆様から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げまして、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

4 自己紹介

（名簿、座席表配布）

5 協議事項（進行：会長）

(1) 飯山市介護保険運営協議会について

資料1

（説明略）

(2) 令和7年度事業報告及び決算報告

資料1

（事務局）

資料に沿って説明

（委員）

職員の確保ということで、実際に11名が研修を受けたということですが、すでに介護事業所で働いている方がキャリアアップのためであれば、母数は変わらないということなので、その方のバックボーンが分かれば教えていただきたいです。

（事務局）

受講者11名のうち、8名が市内の事業所にお勤めされている方、その中には介

護の職種ではなく運転手といった方もいます。残りの3名は事業所にお勤めでない方になります。

(3) 飯山市第10期介護保険事業計画策定委員会

①スケジュール等について

資料2

(事務局)

資料に沿って説明

【質問、意見等なし】

②高齢者実態調査集計結果

資料3

(事務局)

資料に沿って説明

(委員)

病院の立場からすると介護保険と医療との連携はとても大事です。介護保険利用されている方が、どのくらい入院治療を受けられたかということを、ぜひ教えていただきたいです。入院する前に、要支援等になっている方が半数以上いらっしゃるため、次回もし可能であれば教えていただきたいと思います。

(事務局)

次回にお示しできるように用意したいと思います。

③事業所アンケートの集計結果について

資料4

(事務局)

資料に沿って説明

【質問、意見等なし】

④第9期の中間総括について

資料5

(事務局)

資料に沿って説明

【質問、意見等なし】

⑤第10期に向けての意見交換

(委員)

高齢者実態調査や事業所アンケートでデータとしてまとめられているが、飯山市保健福祉課としては方向性や課題といったたたき台があつてからの話なのかと思います。国の流れも次回の改定に向けて話し合いは終わっていて、これからモニタリングをしていくといったところですが、介護保険の会計が下がっていること自体、例年同じサービスであれば介護給付費改定で上がっているが、下がっているということは、サービス不足または利用ができていないと推測できます。客観的に見て問題点がすごく見えるが、飯山市からはなにかないものなのでしょうか。

広い質問で観点が広がる話ですが、人口動態は全世界的にこれほど根拠のないデータはないというくらいで、高齢者が減少しており若い人も減少していると言いますが、減少数も割合が2倍ぐらい減っています。例えば高齢者が減ってくればサービスは足りるとなってきますが、働く人がいなければ、自分たちが介護

保険を使うときには既にサービスがないということは、何も手をつけなきゃ目に見えている話です。

だから自分たち自身が今の利用者さんでなくて、自分自身が介護保険を使うために今から考えていかないと、10年後だと遅いと感じます。極端な話、サービス事業所を、収入が厳しいけども国とすれば加算を全部取らない限り国は潰すという体系をとっています。しかし加算を取ってない事業所が多いです。私は飯山市から、加算も全部取りに行きましょとかもあるかと思いますが、ヘルパーが本当に最後の砦だと思っているところが、前回の改定で国が厳しくしてしまい減ってきて、働く人がもう60代以上となれば、10年後いないですよ。そういったところは近々の課題なのかなと思っていて、そこは飯山市が捉えられてるのかなということをお願いします。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。だいたいまとめに近い形をご発言いただいたのかなと思ってます。その通りかなと思っておりますが、飯山市の今後第10期計画に向けて現状分析を行ったり、将来どうなっていくかという推計については、先ほど事務局の方からご説明をさせていただきました第3回のところでしっかり整理をしてご説明できればなと思っておりました。先に行政の方からあつてしかるべきだというご発言が先ほどありましたけれども、今日ご説明をした、各事業所にご協力いただいたアンケート、あと高齢者の実態調査、そういったものをまず皆さんにご覧をいただいたり、国の方ではこうなっているというような全体的なことを示した中で、それから次回の議論かなというふうに思っておりましたが、より現場に近いところで、普段接してらっしゃる方からすると、先にそっちがあつてからの議論じゃないかというご意見だったのかなというふうに受け止めております。

課題とすれば先ほど委員さんがおっしゃったようなところは非常に重要な視点かなと思っておりますし、我々もそこは本当にのんびりしてられない課題だという認識でありますので、今日のこれからの意見交換も含めて、次回以降も議論を深めていければなと思っております。よろしくお願いします。

(委員)

ありがとうございます。人がいないところで、今後ボランティアやシルバーの関わり方っていうのも、もう少し深く入っていかなくちゃいけないのかなと思っていてところで、まさにこの場がそういった団体の代表者がいるところなので、そこが協議できればいいのかなというふうには存じております。

(会長)

次回にある程度のお話はできる部分もありますけれども、またいろんなご意見いただいていいものにしていければとそんなふうにも感じるところであります。

他にご質問ご意見等あればお願いをいたします。意見交換ですので自由な形で今の委員さんのようにこの地域に合った形で将来どうしていくのかと、行政としての考えはどうかというような、突っ込んだ意見でも構いませんので、お願いをしたいかと思います。

(委 員)

訪問のリハビリ、特にリハビリというものが、市内に2事業所しかないっていうのが現状なんですけれども、今訪問リハビリも市外の病院が入ってきてるような状況であります。市内の病院について通所リハビリの復活や、訪問のリハビリの拡充といったところは、お考え等ありますでしょうか。

(委 員)

回復期リハビリテーション病棟の施設基準が非常に厳しくなりまして、現状の療法士の数でようやくって感じですので、院外の患者さん、サービスを受けたい人までは手が回らない状況です。

(委 員)

ありがとうございます。今PT、OTの養成学校もだいぶ求人が余ってたところが今年になったら急に、募集かかってきたってところもありましたので、そのような流れなのかなというふうに思います。あともう一点ですけれども、医療報酬の改定で、今回介護と医療の連携加算といったところが出てきたのかと思うが、そうすると来年度の改定においても、ケアマネさんと主治医との連携を取りなさいというような加算がついてくるとは思うが、病院とすれば何か支援、援助、協力できるようなところはございますか。

(委 員)

一応採用しながら、増やしながらかやっています。退院支援に力を入れなさいというのは明らかなので、それは力を入れておりますが、院外の介護施設さんとの連携が足りないなと思ってます。それはこれから努力はしますが、当院も人材不足の上に、資金不足ですので、なかなか厳しいです。飯山市に期待してます。

(会 長)

他いかがですか。はいどうぞ。

(委 員)

この資料4のですね最終ページの15ページの各施設の方が書いたフリートークが非常によく事実を表しており参考になると思うんですが、当院で言うと、意見の4が一番非常に困っております。市内の介護事業所の介護タクシー事業廃止後、なかなか前ほどのサービスが難しいというような話も聞いています。もしこういうのが充実してくれば、例えば冬期に入院しなくても済む方が通院で何とかなるっていうようなこともあります。そうすると医療費も介護保険料も安くて済むということもあるかもしれないので、行政の方でお力添えをいただかないといけないことかなと思ってます。ぜひまた介護タクシーに力を入れていただければなと思っております。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。市内介護事業所の介護タクシー廃止の一件に関しては、1年以上ぐらい前から話は市役所の方に入ってまして、その事業所並みの手厚いサービスっていうのはやはりなかなか難しいかと思っております。委員さんがおっしゃる通り、業者の皆さんの自助努力だけに期待できる状況ではなくて、行政としても、関係者の皆様のご意見をお聞きをして、支援できるところ、行政として何か手立てがあるというところがあれば、積極的に考えてまいりたいと思っております。よろしくお願いします。

(会 長)

他にご意見等あったら、せっかくの機会ですので、お願いをいたします。

(委 員)

第5節の雪かき支援の関係ですが、ここに書いてあるように、作業員がいなくて困っているが、頼む人はまだ増えてきているという実態があるが、実際に各地区に支援員、市の方で委託してる人が2人ずつ配置されている。その人たちは見守るだけでスコープを握ってるわけじゃない。連絡すると業者の方へ連絡するだけだということがあって、利用者からすれば歯がゆさがあり、「あなたに頼んでるんだ」ということも時として聞こえるので、ちょっとしたことぐらいだったらその人たちが自ら手を出しても悪いことはないんじゃないかなと思います。午前一回り午後一回りすれば、あとは詰所で静かにしてるっていう中身だと聞いておりますが、その辺の改善も含めて、有効に使えるような形を考えていただければ、みんなも助かるかなと思いますのでよろしくお願いします。

(事務局)

雪かき支援員の関係だと思いますが、今の雪かき支援員の制度の中では、支援員さんはおっしゃった通り直接雪かきには手を出さないという形になっております。この制度を作ったときに、民業圧迫になるというような話もあり、制度策定にあたってその部分はかなり苦労したところでもあると聞いております。雪かき支援員さんの今の形態については、様々なご意見もいただいておりますので、今いただいたご意見等をまた参考にさせていただきながら、現場に伝えていきたいと考えておりますので、またご理解をいただければと思います。

⑥その他
なし

- 6 その他
 - ・次回会議日程について
10月頃開催予定
 - ・ご意見シートについて
9月末を締め切りとして、各委員に提出を依頼

7 閉会（保健福祉課長）